

再 評 価 書

箇所名	中勢沿岸流域下水道（志登茂川処理区）	事業名	下水道事業	課名	下水道事業課
事業概要	工 期 (下段:前回)	H9 年～R30 年	全体事業費 (下段:前回)	135,595 百万円（流域下水道 43,463、流域関連公共下水道 92,132） （負担率：流域：管渠；国 0.5、県 0.25、市 0.25 処理場；国 0.67、県 0.165、市 0.165 流関：国 0.5、市 0.5）	
		H9 年～H59 年		125,917 百万円（流域下水道 43,757、流域関連公共下水道 82,160） （負担率：流域：管渠；国 0.5、県 0.25、市 0.25 処理場；国 0.67、県 0.165、市 0.165 流関：国 0.5、市 0.5）	
事業内容及び内容					
1 関連市 津市 2 下水道全体計画 2-1 事業目的 伊勢湾をはじめとする公共用水域の水質保全と汚水排除による生活環境の改善に資するものです。 2-2 全体計画 計画区域面積：2,574.2 ha（津市 2,574.2 ha） 計画処理人口：62,134 人（津市 62,134 人） 流域幹線延長：27.9 km（処理場放流渠は含まない） 計画汚水量：33,100m ³ /日最大 終末処理場：1 箇所					
事業主体の再評価結果					
1 再評価を行った理由 本事業は、H28 年度に再評価を受けた後、10 年が経過したため、三重県公共事業評価実施要綱第 2 条(3)に基づき再評価を行うものです。					

2 事業の進捗状況

2-1 進捗率

事業費ベースでの進捗率は、事業全体で49%です。

(百万円)

	全体計画	残計画	進捗
事業期間	H9～R30	R8～R30	
事業費	135,595 (流域下水道：43,463) (流域関連公共下水道：92,132)	69,156 (流域下水道：5,007) (流域関連公共下水道：64,149)	49%
工事費	134,394 (流域下水道：42,262) (流域関連公共下水道：92,132)	69,146 (流域下水道：4,997) (流域関連公共下水道：64,149)	49%
用地費	1,201 (流域下水道：1,201) (流域関連公共下水道：0)	10 (流域下水道：10) (流域関連公共下水道：0)	99%

2-2 処理場用地の取得状況

本処理区の全体処理場用地約3.8haのうち事業進捗に必要な用地約3.7haを取得済みです。

2-3 施設の供用状況

流域幹線および処理場の供用状況は以下のとおりです。

内 容	事業進捗状況 (R7年度末)		進捗率
流域幹線整備	27.9 km	／ 27.9 km	100%
処理場整備	22,600 m ³ /日	／ 33,100 m ³ /日	68%

2-4 供用開始区域の接続状況

関連市の供用開始区域における水洗化率は以下のとおりです。

内 容	津市 (R7年度末)
整備区域内人口	30,761
水洗化人口	24,263
水洗化率	79%

2-5 地元情勢等

公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を求める声が大きく、志登茂川処理区の下水道整備の推進、早期供用の要望が高まっています。

3 事業を巡る社会経済情勢等の変化

3-1 社会経済情勢

関連市の行政人口は、少子化の影響により減少傾向になっています。

3-2 自然環境条件

「きれいで豊かな海」の実現に向けた水濁法による窒素、リンの総量規制基準の見直しを受け、志登茂川浄化センターにおいて、栄養塩類の調整ができるよう放流水質の見直しを行いました。

3-3 計画変更の有無及びその程度

中南勢水域流域別下水道整備総合計画の見直しおよび近年の社会経済状況や周辺環境の変化等に対応して、令和8年度中に全体計画の見直しを行います。

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

4-1 費用対効果分析

本事業は、平成 9 年度から事業を進めており、「下水道における事業効果分析マニュアル（令和 5 年 9 月改定）〔国土交通省水管理・国土保全局下水道部〕」に準じた費用対効果分析を行いました。

①前回再評価時の費用効果分析結果

【前回再評価時】（平成 28 年度）

総費用（C）＝1,360 億円 総便益（B）＝2,042 億円 費用便益比（B／C）＝1.501

②費用効果分析の結果

費用便益比 (B／C)	総費用（C） (残事業)／(事業全体)	総便益（B） (残事業)／(事業全体)
【事業全体】		
1.6	＝633 億円／1,989 億円	＝1,728 億円／3,088 億円
参考[2%] 1.8	[建設費] ＝578 億円／1,798 億円	[周辺環境の改善効果] ＝672 億円／1,176 億円
〃 [1%] 2.0	[維持管理費] ＝55 億円／191 億円	[居住環境の改善効果] ＝893 億円／1,609 億円
【残事業】		
2.7		[公共用水域の水質保全効果] ＝163 億円／303 億円
参考[2%] 3.0		
〃 [1%] 3.2		

③感度分析の結果

【事業全体】	【残事業】
費 用（±10%）：B／C＝1.5～1.6	費 用（±10%）：B／C＝2.3～3.3
便 益（±10%）：B／C＝1.4～1.7	便 益（±10%）：B／C＝2.3～3.2
事業期間（±10%）：B／C＝1.6～1.6	事業期間（±10%）：B／C＝2.7～2.7

※出典：「下水道事業における費用効果分析マニュアル（令和 5 年 9 月 国土交通省水管理・国土保全局下水道部）」

4-2 地元の意向

事業の進捗に伴い公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を求める声が大きく、志登茂川処理区の下水道整備の推進の要望が高まっています。

5 事業の進捗見込み

今後、関連市の下水道整備の進捗にあわせて、残計画の処理場の施設の増設を段階的に行います。

6 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

6-1 コスト縮減

今後、施設等の新設及び改築に伴い、技術の進展に伴う新工法の採用、新たなコスト縮減の可能性については、引き続き検討を行います。

6-2 代替案

三重県公共事業再評価実施要綱 第 3 条の視点による再評価の結果、事業主体において、現行計画での事業継続が妥当と判断されるため、代替案はありません。

再 評 価 の 経 緯

本事業は、平成 9 年度から進めており、平成 18 年度に初回の再評価を行い、その後は平成 28 年度に第二回の再評価を実施したが、いずれも三重県公共事業評価審査委員会より、「事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。」との答申を受けました。

今回、前回の再評価から 10 年が経過したため、三重県公共事業再評価実施要綱第 2 条の(3)に基づき再評価を行うものとなりました。

事 業 主 体 の 対 応 方 針

三重県公共事業再評価実施要綱第 3 条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第 5 条第 1 項に該当すると判断されるため、当事業を継続したいと考えています。

委 員 会 意 見 の 概 要
対 応 方 針 の 概 要